



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No.26

令和6年 1月24日

文責：校長 齋藤和彦

薫小 PTA 役員さんに感謝

～改善案『第4案』への目と心～



先日、PTA 役員会、学年委員会、運営委員会を開催しました。

次年度に向けての改善点とその方向性の話し合いでした。役員会の事前には学校でも担当者間で、

改善案を1案/2案/3案まで考えました..が、PTA 会長さんはじめ、役員さん方々の意見（これまでの PTA 経緯をも踏まえた思案）に、あらためて薫 PTA の確かさを感じさせられました。

その思いは、「薫の子ども達のために」ただひとつです。（これは学校ともぴったり同じ！）

今年度始めの PTA 総会にて予算執行における改善の要が指摘されました。この点の改善案は、4月の総会承認を経て動き出します。

子ども達も、卒業生にも、保護者にも、地域の方々にも「いいですね」と喜んでもらえるであろう..PTA 役員さんからの改善策『第4案』に、今から私もワクワクしています。



まだまだ油断できない感染症

年末年始の旅行や人の動きもコロナ禍前のほぼ 80%程度にもどっているとの報道です。

新型コロナの5類移行も伴って、人々の感染症への警戒心や危機感も緩和傾向にあります。

ここに来て、感染拡大『第10波』到来です。本校でも近隣校でも、家族感染による広がり傾向が見られます。（インフルエンザも）

症状の傾向は、【発熱】【のどの痛み】による受診（検査）で陽性となる場合がほとんどです。

また、どこで感染したか分からない（感染経路不明）ケースも多く、症状の無い（軽い）人からの感染拡大にも注意が必要です。

- ◆ 手洗い・うがいの励行
- ◆ 休日の外出では、人混みを避ける
- ◆ マスクの積極的な着用
- ◆ 部屋の十分な換気

学校でも、拡大防止に努めます。ご家族でも気をつけてください。



◆◆ 校長室より ◆◆ ～『私は、それがとても好きです』～

ベトナムからの転校生の姉弟が、10月より薫小学校で過ごしています。日々、よくがんばっています。転入時には、校内で『“日本を（薫小学校を）好きになること”を当面の第一目標とすること』を確認しました。ランドセルに..うわばき..、猛暑対策の水筒をもって、薫小運動着で体育のマラソンもよくがんばりました。

「こんにちは」「ありがとうございます」「さようなら」～校長室に勉強に来るときのあいさつも上手です。ひらがなを全て読むことができるようになりました。友だちの表情や様子から気持ちを察して、学級では楽しく過ごしています。（※大変なことだと思います。私は、3か月過ぎてもベトナム語を理解することは困難です。）

校長室で、日に1時間ずつ勉強をするときは、お互いにタブレットの翻訳アプリを手放せません。

先日2校時目、ちょっと元気がなく校長室にきました。うつむいて..タブレットに翻訳入力しています。～画面の日本語訳は、『これについて話すのは、とても悲しいのですが』でした。「悲しいことがあるのですか？」と、翻訳アプリで聞くと、小さくうなずいて..タブレットの入力を続けました。（目が少しうるんでいます）

『2か月後に違う学校に転校するのです』 転入の際に、私はこのことは保護者から聞いていて知っていました。「私もとても悲しいです。岡山県の小学校に転校するのですね」と返すと、『3か月後に出発します』

「新しい学校でも、きっと楽しいことが待っていますよ」と伝えると、『私は、それがきらいです』（翻訳文）

「薫小学校は、好きですか？」と翻訳表示すると、すぐに『私は、それがとても好きです』と返してくれました。・・・初めて、カルタの「い・ぬ」の「い」が取れたときのこと。折り紙飛行機を遠くまで飛ばしたときのこと。

日本語の勉強に飽きると、ベトナムの話題を入力したり..「水筒を取りに行きます」（画面表示して）教室に行っておなか戻ってこなかったり..「トイレに行かせてください」は、早々に覚えたっけ...等々。

10月からの毎日の様々な出来事が思い出されて..私もなんだか切なくなってしまいました。この日の勉強はお終いにして、校長室外の犬走で“目標だった なわとび20回”に挑戦しました。

ベトナムでは見ることもない雪がちらつく中、大新記録32回！を二人で数えました。私は、4月からの新しい学校でも楽しい友だちがたくさんできますように..と願いました。

わずか半年だけの在学であっても『私は、それがとても好きです』と言ってもらえてよかった。学校経営の第一の柱にしてきた「薫小学校は、子ども一人ひとりを大切にします」は、これからも。

